

東京教区時報

第1110号
2009年2月8日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇2月の代祷・信施奉献先
▽「信教の自由」を抑圧されている人々のため(2月11日に近い主日)▽ハンセン病問題啓発の日(大斎節前主日の1週間前2・15)▽ぶどうのいえのため▽葛飾学園(サンピエール・保育園)のため▽浦安伝道所・浦安宣教のため▽平和を実現するキリスト者ネットの働きのため▽聖公会平和ネットワークのため

《代祷先から》
「信教の自由」を抑圧されている人々のため

この代祷は、先の教区会の決議『日の丸・君が代』強制の即時中止を求める声明文を採択し、教会に伝えて祈る件」を受けて新たに加えられました。東京教区においては、「人権委員会

今週・来週の予定

2月8日～21日

- 8(日) 顕現後第5主日
主教巡回
小笠原聖ジョージ教会
- 9(月) 財政委員会
- 10(火) 銀座朝拝会 組織成立記念日
- 11(水) 日本聖公会組織委員会
- 12(木) 聖職養成委員会
聖教区協働委員会
常置委員会
広報委員会
外濠G牧師協議会
(聖バルナバ)
- 13(金) 人権委員会：「日の丸君が代」祈りの会(神田)
会計委員懇談会
- 14(土) 顕現後第6主日
礼拝音楽委員会
月島〜特別委員会(主教座)
- 15(日) 教役者レクイエム(聖愛)
- 16(火) 山手G牧師協議会(聖愛)
- 17(水) 主教座聖堂活動委員会(聖バルナバ)
- 18(木) 人権委員会(聖バルナバ)
- 19(金) 城南G牧師協議会(真光)
- 20(土) 正義と平和協議会
- 21(日) 運営委員会

『日の丸・君が代』強制問題に取
りくむ会」が、強制に苦しむ教
員や生徒、保護者を覚え、特に
東京都の教員で、強制に反対し
処分を受けている聖公会信徒の
岸田静枝・井黒豊両人とともに
に、教会への連絡や意見表明、
「祈りの会」、都・区教育委員会や
学校長に対する強制中止要請
貴子・各12時20分より

(職務命令や異動具申対策も含
む)などを継続的に行なってい
ます。 榆原民佳(同強制問題
に取りくむ会)

▽2月ランチタイム・オルガ
ンコンサート *聖パウロ13
日(金)小野田良子・小野田末奈
*神田キリスト18日(水)英

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

今日ある自分を「神の恵み」によると述べるパウロは、「神の恵み」以外に自分の存在を証言し支えてくれるものは無いことを表明します。かつての彼は教会の迫害者であり、回心後の彼は熱心な伝道者として大きな働きをするのですが、エルサレム共同体にはなかなか受け容れられませんでした。彼は直弟子らから猜疑心を持って受けとめられました。その窮境が、彼に「神の恵み」の発見へと導いたように思います。勿論、彼は「神の恵み」を自己正当化や自己弁明に用いているのでは決して在りません。ギリギリのところまで自分を支えている神への信仰の告白であったでありましょう。

「神の恵みによって今日のわたしがあつた」

(イコリ・15・10)

司祭 関 正勝

実際、この「神の恵み」が自己正当化・自己弁明の手段とされて、「私物化」されることを私たちは警戒しなければならぬであります。もし、そうなればキリスト者や教会は「偽善者を生みだすところ」に変質してしまうことでしょう。私は1965年に執事に按手されて今年の3月を持って40数年にあつた手された奉仕職としての働きを定年退職します。「神の恵みによって今日のわたしがあつた」と告白出来る者でありたいと願うと共に「神の恵み」を軽々に口にすることへの畏れを感じているところであり、長い年月の間、多くの皆さまにお世話になりました。傷つけ傷つくことも多くありましたが、「恵みに生かされる日々でした」と申し上げることをお許し下さい。

主にあつて。(目白聖公会協力司祭)

《春の教区会》

3月20日(金・休日) 9時〜17時、主教座聖堂・聖アンデレホールⅡ2月3日付公示(次週15日号で掲載予定)。

▽会計委員懇談会(財政委員会主催) 各教会会計担当者らによる懇談、意見交換会で、2月14日(土) 13時〜16時、聖アンデレホールで開かれる。

▽教区人権委員会Ⅱ祈りの会(「日の丸・君が代」強制の即時中止を求め、強制に立ち向かう人、苦しむ人のために祈る) 14日(土) 14時〜17時、神田キリスト教会。第4面で関連記事。照会Ⅲ0901964910392(人権委員長)。

▽神愛教会新オルガン奉献礼拝 15日(日) 13時半、ドイツホフリヒター社電子オルガンの奉献。礼拝ではオーガニスト全員が交代で奏楽を担当。礼拝後にお茶の会。いずれも参加歓迎。照会Ⅲ03(3802)2455。

▽モニカ会(東京教区神学生後援会)幹事会 15日(日) 15時、聖公会神学院で。

▽五本木九条の会《憲法を学ぶ》講演会 18日(水) 18時半、聖パウロ教会。「チエルノブイリ原発・悲劇の傷あとと事故から22年の現地を訪ねて」Ⅱ講師・坂内義子(無教会・東中野教会)。11日(水)には平和を祈る夕の礼拝も聖パウロで。照会Ⅲ0901804418524・同会事務局。

▽JOCS(日本キリスト教海外医療協力会) チャリティ映画会 中国映画「變臉(へんめん) この權に手をそえて」が20日(金) 15時・19時、日本橋公会堂で。チケットⅡ千円。カトリック、日本基督教団、日本聖公会の各東京教区など後援多数。照会Ⅲ03(3208)2416。使用済み切手の受付も会場で。

▽銀座朝拝会(第2・第4火曜 Ⅱ7時半) ・10日Ⅱ感話・吉松英美(聖オルバン) ・24日Ⅱ未定 照会Ⅲ042(796)1498Ⅱ世話人。

▽西新の会・井草(第2・第4火曜) ・10日19時半Ⅱ聖餐式(高橋顕司祭) ・24日10時半Ⅱ聖書の学び(関正勝司祭) 照会Ⅲ03(3951)5010・自白聖公会。

【クローズアップ】4

《日本聖公会宣教150周年記念礼拝》

実行委員長に聞く2

Q. (9月23日は)どのような礼拝になりますか？

A. 詳細はこれからですが宣教100周年や組織成立100周年の時ほどの大がかりなものにはならないでしょう。しかし、首座主教による司式、カンタベリー大主教による説教はほぼ決まっています。聖職団の編成、奏楽者・聖歌隊等々の礼拝奉仕者の編成はこれからです。

Q. 東京での開催で、お手伝いすることはありますか？

A. たくさんお願いします。管区関連の実行委員会のもとにまず

小委員会を設定し、東京教区フェスティバル規模の役割分担を担っていただくなど。

Q. 記念礼拝のほかに記念事業はありますか？

A. 礼拝以外のことはまだわかりません。礼拝参加者の方々にお配りする「小冊子」の発行は予定しています。ですが東京教区各教会に対して、9月23日に近い主日、各教会の創立記念日などにおいて、記念礼拝の代祷・特祷・懺悔を用いた「宣教開始150周年」を記念した礼拝の呼びかけは考えています。

Q. 募金が呼びかけられています。状況はいかがでしょう？

A. 1000万円を計画しています。海外からの来賓の招待費用、遠隔地からの参加者への交

通費補助、小冊子の刊行費用などに用いるために…。日本聖公会の信徒お一人おひとりに500円ずつお献げいただければ、達成できる金額だと…。昨年末で半分強まで来ていると思います。ご協力をお願いしたいと思います。「編集部注Ⅱ管区事務所HP募金情報では1月9日現在550万円、内東京教区事務所経由送金額は約44万円、4月〜6月に第2次募集」

Q. 皆さんへの呼びかけは？

A. 150周年という記念の節目の年を、聖公会の聖職・信徒一人ひとりが自らの信仰を確認する時として、そして新たな宣教のわざに参与する機会となつて欲しいと思います。

「文責・広報委員会」